



大好き札幌

「大好き」だからこそ やりたい事があるのです。

札幌市議会議員

中川賢一 けんいち

経済常任委員会 副委員長に就任

初当選の初年度、議会デビューにもかかわらず、札幌市議会経済常任委員会の副委員長という大役を仰せつかりました。

札幌市議会には「総務」、「財政市民」、「文教」、「厚生」、「建設」、「経済」の6つの常任委員会があり、議員はいずれかの一つに参加することになっていきます。

経済委員会は、200万都市札幌の経済・産業の活性化を推進する重要な役割を担っており、銀行員としてのビジネスの現場での経験や北海道庁で産業政策、国際観光、海外駐在などに携わった経験を活かし、しっかりとこの重責を果たしていく所存です。

平成27年 第3回市議会定例会

会派を代表して自身初の 代表質問に挑む

平成27年札幌市第三回定例会市議会（三定議会）が9月17日から11月6日までの日程で開かれ、私は自民党会派を代表して9月30日に代表質問に立ちました。

三定議会は前年度決算を行う重要な定例会であり、特に今年度は秋元市政に代わり、上田前市政の最後の予算・決算を審議する、いわば前市長の実績を総括し、新市長の方向性を見極める非常に重要な位置づけとなる議会です。

代表質問においては、自身の専門分野である地元経済の活性化や観光振興などについて切り込んだほか、高齢者の社会参加や認知症の問題、育児や子供の育成環境の改善などについて幅広く質問を繰り広げ、秋元市長をはじめとした市側から多くの成果を引き出すことができたと感じております。



| 常任委員会名 | 担当事務 |
|---------|---------------------------------|
| 総務委員会 | 総合企画、行政運営一般、清掃、公園、環境保全、消防など |
| 財政市民委員会 | 住民活動、市民生活、男女共同参画、都市計画、財政、区役所など |
| 文教委員会 | 学校教育、社会教育、子育て支援など |
| 厚生委員会 | 社会福祉、国民健康保険、保健衛生など |
| 建設委員会 | 道路、河川、除雪、住宅、上下水道、土地区画整理、市街地開発など |
| 経済委員会 | 産業、観光、文化、スポーツ、中央卸売市場、病院、市営交通など |

代表質問項目

- 1. 地元企業の育成と地域経済の活性化について**
 - ① 入札制度の改善と地元企業の支援について
【成果】 地域経済の活性化が急務であることから、公共事業の入札制度等の改善と最低制限価格の見直しを図るという大きな方向転換を秋元市長から引き出しました。また、産業振興ビジョンを現在の社会情勢に即したものに直直し、食や観光など市の重点産業分野の企業誘致に力を入れることを確認できました。
- 2. 観光産業の推進について**
 - ① 観光による経済効果と将来展望について
【成果】 観光の季節変動に対する対応方針について観光の季節変動に対する対応方針についてしながら効果的な施策展開をすること。そのために現在別々の観光部局と経済局とを一体化する組織改編の確約を引き出しました。
- 3. 「創造都市さっぽろ」に対する取組みについて**
 - ① 「創造都市さっぽろ」の取組方針とユネスコ創造都市ネットワーク加盟の意義について
【成果】 札幌国際芸術祭の具体的評価と今後の方向性について
【成果】 市民の発想力や創意工夫する力により豊かな暮らしと経済を育んでいくという理念を確認するとともに、事業を観
- 4. 「環境都市さっぽろ」の取組みについて**
 - ① 超高齢社会に向けた「ごみ収集」の対応について
【成果】 高齢者のごみ出し支援充実に向けて、「さわやか収集」の拡充やゴミステーションの小規模化などの地域要望への対応を検討する旨の回答を引き出しました。公園については、高齢者など利用も考慮しながら、幅広い年齢層が楽しめる公園づくりを目指すことを確認できました。
- 5. 超高齢社会に対応したまちづくりについて**
 - ① 高齢者の社会参加の促進について
【成果】 高齢者に経験やスキルを活かして社会参加していただけるよう、社会活動に関する情報提供の充実を図るなどの対策を講ずること。また、認知症対策としては、発症段階に応じた適切な制度を確認できる市民向けガイドブック「認知症ケアパス」の作成・配布していくことを確認できました。
- 6. 市民自治とまちづくりセンターについて**
 - ① 市民自治や地域へのスタンスについて
【成果】 「市民力」を結集していくために、市職員がこれまで以上に市民との対話の機会を充実させること。まちづくりセンターの自主運営は、あくまでも地域の発意が前提であることなどを確認できました。
- 7. 子供の育児・育成環境の改善について**
 - ① 出産後の育児サポートについて
【成果】 28年度から「産後ケア」の費用の一部を助成する支援事業の導入方針が示されました。
- 8. 中央区等に顕著な課題について**
 - ① 公園や空き地が不足している地域における子供の健全な育成環境の確保について
【成果】 一部地域で子どもが自由に遊べる場所や環境が不足していることに対しての認識は共有できました。ただ、中央区などでは土地確保が難しく、まずは既存の施設の有効活用を検討することとなりました。

札幌市議会議員

中川賢一 けんいち

中川賢一 市政研究所

〒064-0919 札幌市中央区南19条西8丁目1-14第18ふじい宅ビル1F
TEL 011-520-0001 FAX 011-520-8888 URL daisuki-sapporo.net

中川賢一 プロフィール

kenichi nakagawa profile

1967(昭和42)年1月9日 札幌市生まれ●(学業歴)緑が丘小学校、伏見中学校、札幌南高校卒業/東北大学経済学部経済学科卒業/シンガポール国立大学エクステンション・プロフェッショナル・ディプロマ・アジア・パシフィック・マーケティング修了●(職業歴)平成元年 北海道拓殖銀行入行/平成6年 北海道庁奉職・主に経済政策、観光、国際ビジネス支援などの分野に従事/平成15年 北海道シンガポール事務所駐在員/平成22年 札幌国際大学非常勤講師(国際観光)/平成24年 札幌商工会議所付属専門学校北海道観光学科講師/現在(株)クレパー・ジャパン取締役(経営コンサルタント)●(議会歴)平成27年4月、札幌市議会議員 初当選●(公職)一般社団法人北海道タイ親善協会理事/NPO法人コンパサー・理事/一般社団法人北海道農水産物事業者協会顧問/一般社団法人ソーシャルコミュニティデザイン協会顧問/東北大学北海道同窓会東日本大震災支援実行委員●(趣味)読書、音楽鑑賞、愛犬との散歩、瞑想●(好きな言葉)しあわせはいつも自分の心が決める●(家族)妻(シンガポール人)と一男一女/愛犬2頭 ムギ&ホップ(双子のゴールデンレトリバー)

住みよい まちづくりを实践

クリーン鴨々川清掃運動

10月4日、地元を流れる鴨々川の清掃運動に参加。私が顧問を務める「鴨々川を清流にする会」が毎年実施している行事です。今年も町内会や企業などのボランティア有志約240名の参加をいただき、中島公園からススキノにかけて、川の石磨きや周辺のゴミ拾いを行いました。



障害のある方の 社会的自立を支援

障害を持った方が年々増加する中、どのような身体・精神的な状況にある方でも胸を張って地域社会に溶け込む事が出来る環境を築いていくことは今後ますます重要になってきます。そのような思いから、私自身も障害がある方々に対して日常生活の支援、社会的自立(就労)への促進などを行なうNPO法人の理事を務めさせていただいております。



ました。日頃精いっぱい頑張っている利用者の皆さんやスタッフへの感謝を込めて、私もクリスマスツリーに扮し楽しい時間を過ごさせていただきました。

人口減少社会への提言

「家庭の絆再生推進セミナー」を主催

我が国はいよいよ本格的な人口減少社会に突入し、少子化対策は国と地方、そして国民が総力を挙げて取り組むべき国家的課題となっています。この危機から立ち直るために今見直されるべきは、健全な家庭文化や地域共同体の再生であるとの思いから、求められる家庭の姿、子供を育む地域のあり方について考える機会を提供しよう、と10月17日、同じ札幌市議会自民党議員会の宮村素子議員(清田区選出)とともに「家庭の絆再生推

進セミナー」を開催いたしました。講師として教育分野では全国的に名高い「松居和(かず)」先生をお招きし、100名ほどの方にご参加いただきました。多くの参加者から「非常に良かった」とのお声をいただき、大変有意義なセミナーとなったと思います。



森山農林水産大臣に 札幌らしい都市型一次産業 の将来像を提言

12月15日、農林水産省を訪問し、森山農林水産大臣と都市型農業の将来像などについて意見交換しました。札幌市自体は一次産業のウエイトが決して高くはありませんが、農業王国北海道の経済流通の中心として、北海道の一次産業を牽引する大きな役割があります。また、近年では大都市の住民に新鮮で安心・安全な食料や豊かな空間を提供する新しい農業のスタイルとして、植物工

場や観光農園などといった新しい事業形態も有望です。札幌らしい食や観光の将来像を地域から創造し、国に提言してほしいと大臣からエールを送られました。



中川とともに 「地方創生」を!

安倍総理が掲げる「地方創生」。これからの日本を支えるのは地域の力です。南北に長い日本には、多様な地域の個性と営みがあります。これらの多様な力が日本再生の原動力となるはず。日本の最も北に位置する北海道。大きな可能性を有するこの大地を牽引するのが札幌の使命であり、我々が動かなくてはなりません。私中川は地域の皆さんの声に耳を傾け、ともに知恵を出し、汗をかき、札幌発の「地方創生」を進めていきたいと考えています。一緒に札幌の未来を創り上げていきましょう!

